

FUKUSHIMA × TOKUSHIMA

平成24年1月14日[土] 13:30開始

徳島県 建設センター7階(徳島市富田浜2丁目10)

13:30-14:15 基調講演/中野 晋
14:30-15:30 東北の建築家による報告
15:45-17:00 徳島の建築士の報告+パネルディスカッション
■参加費:無料

*連絡先:シンポジウム事務局 Tel.088-626-9567(内野設計) uch@uchnet.net

*主催:四会共催(日本建築家協会四国支部、徳島県建築士会、
徳島県建築士事務所協会、日本建築学会徳島支所)

いま、何を備え、何ができるのだろうか フクシマトクシマ防災シンポジウム 1.14.2012

未被災地の建築士はどう動く

～建築士の備え・命をつなく建築づくり・被災直後の対応・復旧復興へ etc.

JIA(日本建築家協会)の福島地域会と徳島地域会が手を取り、災害復興支援と未被災地の備えをテーマに活動を開始した「フクシマトクシマの会」(2011年5月設立)。この一連の取り組みのなか、1月13日(金)美波町にて「東日本大震災講演会 in 美波『福島を知り福島から学ぼう』」の開催が決定。大震災を経験し、今なお復興に向かって様々な活動をされている宮城県、福島県の建築家が、「徳島の減災に少しでもお役に立つのであれば」と、遠路を厭わず足を運んでいただけることになりました。この機会を、地元徳島にとってさらに有意義なものとするために、徳島大学の中野 晋教授、徳島県建築士会 地域防災研究会代表 中村正則氏にもご協力いただき、この度「フクシマトクシマ防災シンポジウム」を企画いたしました。東海、東南海、南海地震、さらに日向沖地震が併発すれば「日本大震災」と呼ばれる規模になることが予測されています。メディアによる報道が、「市民一人一人がいかに意識を高めていけるか」「実際自分達がどう動くのか」という防災意識の喚起に移っていくなかで、あらためて東日本大震災で実際に被災し、以来現地で復旧、復興へと活動を続ける建築家の生の声に触れ、私たちはどのように「備え」をしていけばいいのか、建築士として何ができるのかを、共に考えていく場にしたいと考えています。

「フクシマトクシマの会」ブログはこちら=<http://fukushimatokushima.seesaa.net/>



■中野 晋

(徳島大学大学院教授、環境防災研究センター副センター長)
震災以来、県内各所での講演活動等を通して、
防災意識の向上に尽力されています。



■辺見美津男

(JIA東北支部福島地域会復興支援委員長)
復興全体の流れ、木造仮設のきっかけ、
竣工後の住民の声などソフト面の話をさせていただきます。



■阿部直人

(JIA東北支部福島地域会副会長)
木造仮設のつくり方や配置などで大切なこと等、
ハード面の話をさせていただきます。



■渋谷 尚

(JIA東北支部宮城地域会会長)
家、事務所が津波被害をうけた被災民でもある
建築家として、活動をご報告いただきます。



■中村正則

(徳島県建築士会 地域防災研究会 代表幹事)
地域住民と共に防災やまちづくりを考え、町医者的な
建築士として活動されています。